

平成 21 年度 放射線管理士部会総会

並びに第 6 回放射線管理士部会研修会報告

放射線管理士部会 南保 修

第 25 回放射線技師総合学術大会 2 日目の 6 月 5 日（金曜日）、午前 9 時よりかごしま県民交流センター 第 6 会場（4F）において、平成 21 年度放射線管理士部会総会並びに第 6 回放射線管理士部会研修会が開催された。

総会は、岡田富貴夫部会長の挨拶から始まり、資格審査委員会委員長 礫石伸治氏より本総会の成立が報告された。総会運営委員会委員長 中筋要氏より次の旨報告を行い承認された。議長に川西義浩氏および議事録署名人に中直樹氏。議事に於いては、平成 20 年度事業報告、収支決算報告ならびに会計監査報告と平成 21 年度事業計画案、収支予算案が賛成多数で承認された。役員改選については木田浩介選挙管理委員長から立候補者がいない旨の報告がされ、執行部案が提示され了承された。

平成 21・22 年度役員

部会長 岡田 富貴夫
副部会長 南保 修，金井 義弘
監事 山森 和美，横田 浩



総会運営委員長 中筋 要氏



資格審査委員長 礫石伸治氏



議長 川西義浩氏



監事 山森和美氏



部会長 岡田富貴夫氏 理事 有岡政輝氏



選挙管理委員長 木田浩介氏



総会風景



総会風景

総会に引き続き、第6回放射線管理士部会研修会が約60名の参加者のもと開催された。今回は本部会役員が教育講演2題と部会報告を行った。まず、『原子力防災訓練参加報告』という題名で横田氏が茨城県で毎年行われている原子力総合防災訓練の中の緊急被ばく訓練についての報告を行った。始まるきっかけとなったJCO事故の報告を含め、避難所で放射線技師が担うスクリーニングチームの概要を説明し、臨界事故をきっかけとして整備された緊急時医療体制やオフサイトセンターの紹介、原子力防災訓練の目的と基本方針、放射能汚染検査の方法等について解説しながら実際に訓練に参加した感想を報告した。

次に吉田氏が『原子力災害時における心のケアを考える～診療放射線技師の役割を中心に～』という題名で講演を行った。原子力災害時は医療を必要としない場合であっても、住民等は健康不安を抱くものであり、「この健康不安には、自身の将来的な健康への影響に対する不安、子供の健康影響に対する不安が存在する。」と提言した。放射線の専門家集団の一つである診療放射線技師として、そうした健康不安を抱く住民や被災者とその家族、汚染患者さんを処置する医療関係者等の心のケアの手助けをする事を考えなくてはならないとの思いから、今回は放射線に対する知識と心のケアに関する知識の習得、心理的に動揺しやすい者を見極めメンタルヘルスケアの専門家へ引き継ぐ具体的な方法など、診療放射線技師としての役割を中心に自身の経験も踏まえて講演した。

最後に私が都道府県技師会へ協力をお願いした『放射線管理士に関するアンケート』の報告を行った。放射線管理士の活動は地域によって非常に温度差があり、当部会や日本放射線技師会へ期待する意見も多く含まれているため今後の活動に役立てていくことと、アンケート結果についてはまとまり次第日本放射線技師会雑誌に掲載をお願いするとともに都道府県技師会へも送付させていただくことを報告した。全体を通して質疑応答も活発に行われ2時間にわたる研修会は盛況のうちに終了した。



横田 浩氏



吉田 篤史氏



南保 修氏